学校番号	１０１

令和８年度　幼児教育科

教科	幼児教育	科目	(学) 子どものための美術表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

将来子どもと関わる中で、造形活動の楽しさを伝えられる資質を養うことを念頭に、様々な材料、道具を使った造形活動、グループ活動の経験を通し、2年生での『子どものための表現演習』での学びを深めていく。他の生徒と協力しながら、授業の企画・実施や人形劇の制作、発表を行う。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して､生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに､感性を高め､創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし､美術文化と深く関わることのできる資質や能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	美術に関する基礎的な知識や理論を学ぶとともに、実習・体験を通して造形経験を豊かにし、幼児教育をするために必要な美術的技能を身に付けるようにする。	美術に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かな美術表現を創意工夫したり、美術の良さや美しさを子どもに伝えることができるようにする。グループ活動や発表等を通じて、教育現場で特に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力を身につける。	主体的に活動に取り組み、作品制作、発表を通じて造形活動への興味関心を一層深め、自ら課題を見つけ解決する態度を身につける。生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、美術文化を尊重し、美術によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	グループ授業	グループごとに子ども向けの内容の授業を計画し、実施する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作・発表への取り組み方	制作物	制作物 企画書	レポート 相互評価
2	人形劇制作	グループごとにオリジナルストーリーの人形劇を考え、発表する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作・発表への取り組み方	制作物	制作物 企画書・脚本 演技	レポート 相互評価
3	ペーパークラフト	ペーパークイリング、飛び出すカードなど、ペーパークラフトの技法を学び、作品を制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデアスケッチ	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度